



【編集発行】

屋久島事務所農林普及課農業普及係

屋久島町安房650 TEL:0997-46-2236 FAX:0997-46-3384

**地域農業の振興，魅力ある屋久島づくりに
職員一同 頑張ります！**



井口 寿郎

農林普及課長

自然の恵みが溢れる魅力ある屋久島の農業・農村の振興を推進するため、農業者や関係機関団体と緊密な連携を図り、生産技術と経営管理能力の向上による地域農業を担う人材の確保・育成、屋久島の特性を活かした産地づくり、農村地域の活性化への支援に取り組んでいきます。よろしくお祈いします。



農業普及係



蛭原直人

農業普及係長

係の総括
野菜・花・作物
農業担い手育成



上福元真寿美

技術専門員

地域振興，経営
食育・地産地消
女性起業



眞正清司

技術主査

茶
農産物認証制度
土壌肥料



濱上修作

農業技師

果樹
青年農業者育成
病害虫



東原 大

農業技師

畜産，経営
新規就農者育成
農業制度資金



農村整備係



北田 勉

技術主幹兼農村整備係長

係の総括
事業全般



園田孝志

技術専門員

畑総鈴岳2期地区
中山間屋久地区



佐古陽子

技術主査

畑総鈴岳地区
水土里サークル活動



池松武史

林務係長

係の総括
狩猟・緑化推進



林務係



岩 智洋

技術専門員

森林整備
林業担い手対策

更新茶園の管理は秋整枝からの逆算で計画立てましょう！

1 はじめに

本年産茶は一番茶が過去に例の無いほど遅れたため、二番茶の深刈り更新も遅れ気味となっています。深刈り後の整枝作業の考え方をよく理解し、実践することで、翌年産も良質茶生産間違いナシです！

2 整枝作業は秋整枝からの逆算で全て決める

深刈り更新後の整枝作業は2～3回(秋整枝含む)実施しますが、「葉っぱが大きくなったから、何となく整枝する」や、「たぶん秋までには間に合う(葉が充実する)だろうから整枝する」は大きな間違いです。

全ては秋整枝から逆算し、「この時期だったら絶対間に合う」という確信を持って更新・整枝スケジュールを決定します。

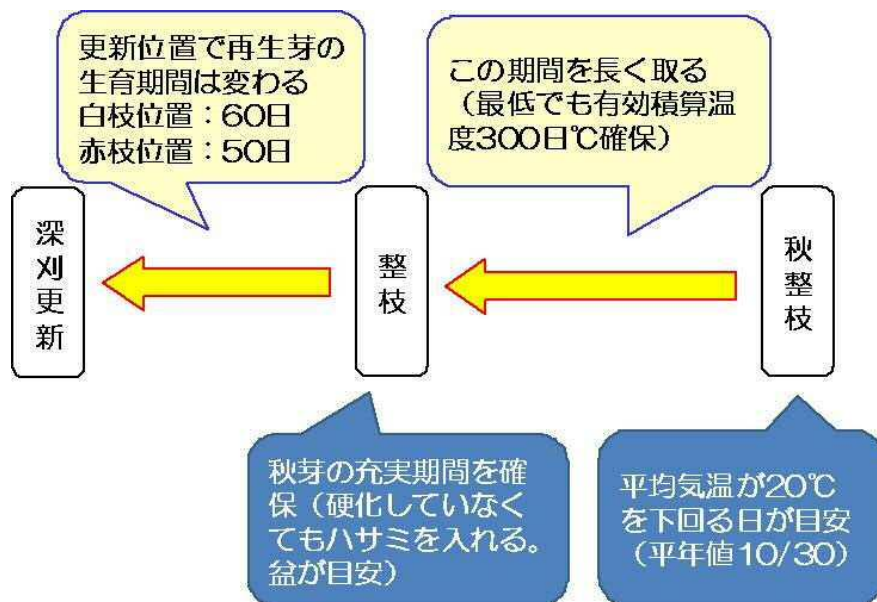


図 秋整枝から逆算したスケジュール

上図から判断すると、本年の深刈り更新の多くは6月に入ってからなので、秋整枝までの整枝は1回のみとなります。1回整枝時の注意点は以下のとおりです。

①時期：7月下旬～8月上旬

(深刈りから50～60日後、盆まで待たない)

②位置：出来れば青茎と赤茎の境目

(赤茎になっていることが多い。その場合は赤茎位置で構わない。大きな親葉を2枚以上残す。

ゆたかみどり、あさつゆは1.5枚程度)



赤枝

芽の再生早い

白枝

芽の再生遅い

(担当：眞正)

ぽんかん・たんかんの当面の栽培管理について

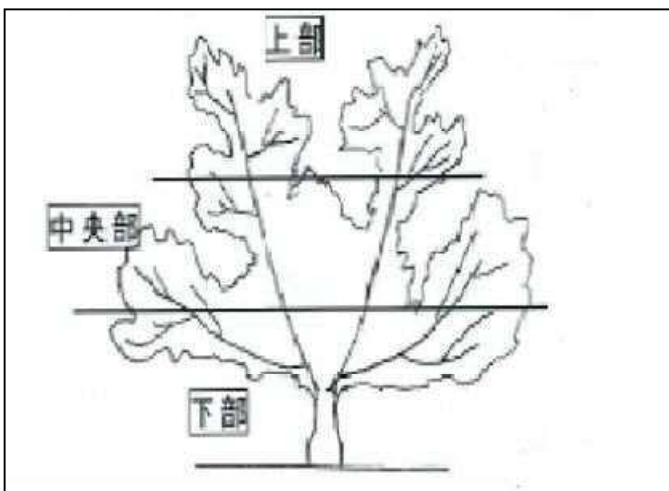
1 はじめに

平成29年度産の状況は、平年より開花が遅く、ぽんかんは10日程度、たんかんは12日程度遅れています。3月の気温が平年より1℃程度低かったことが影響していると考えられます。

着花量は、昨年度産の収量が多かった園では少ない傾向で、直花が多く見られます。

高品質果実生産のために、改めて基本的な摘果のポイントを確認しましょう。

2 粗摘果の実施



樹の下部，内なり果の摘果を行います。

樹の中央部，下部を中心に，風傷果，奇形果，病虫害被害果，直果，クラスター果を摘果します。

この時期は、50～60葉に1果を残す程度＝片手のひらに1果程度

※着果が少ない場合は、病虫害被害果の摘果にとどめます。

3 摘果すべき果実



かいよう病被害果



そうか病被害果



黒点病被害果



クラスター果



灰色かび病被害果



奇形果

(担当：濱上)

我が家にあった子牛の哺育方法で、より良い発育改善を目指そう！

1 はじめに

子牛相場が高騰している今こそ、飼養管理や牛舎環境、経営内容などを見直し、相場が変動しても耐えうる対策を行うことが必要です。今回は、子牛の哺育方法の違いによる母牛や子牛への影響を紹介します。

2 3種類の哺育方法

- ①自然哺育：母牛と一緒に管理し、好きなときに好きなだけ母乳が飲める。
- ②制限哺育：母乳を飲ませるとき以外は母牛から隔離，1日の哺乳回数を制限する。
- ③人工哺育：生後1週間程で母牛から隔離，代用乳を人の手やロボットで飲ませる。

3 哺育方法の違いによる母牛・子牛への影響の比較

	管理の手間	母牛の発情回帰	子牛のえづけ飼料摂取量
自然	かからない	△	△
制限	少しかかる	○	○
人工	かかる	◎	○

・乳房を吸われる刺激で卵巢機能の回復が遅れる

・母乳生産にエネルギーを消費

・いつでも母乳が飲めるためえづけ飼料を食べにくい

制限・人工哺育は管理の手間はかかるが・・・

母牛の早期発情回帰（生産率の向上）＋ 子牛のえづけ摂取量の増加（発育の向上）

が期待されることから、生産牛経営により良い哺育方法である。

※人工哺育が難しい方は、牛舎や部屋を工夫し、制限哺育にチャレンジしましょう！！

4 制限哺育の例

1日2回（15分／回）の哺乳。子牛のえづけ摂取量が増加するほか、母子を隔離することで牛床の衛生管理もしやすくなり、子牛もゆっくり休める。

隔離	ほ乳	隔離	ほ乳	隔離
9時/15分間		16時/15分間		



写真 制限哺育の様子

（担当：東原）

詳細は農業普及係までご連絡ください。

農業制度資金について

農業制度資金は、規模拡大や経営改善を行うために必要な資金を国や地方公共団体がJAや日本政策金融公庫等と協力し、低利または無利子で融資を行うものです。ここでは、主な資金を紹介します。

資金名	資金用途	借入可能者	融資限度額	融資機関
農業近代化資金	施設の取得・長期運転資金等	農業者 集落営農組織	個人 1,800万円 法人・団体2億円	JA
スーパーL資金	農地や施設の取得・長期運転資金等	認定農業者	個人3億円, 法人10億円	日本政策 金融公庫
青年等就農資金	施設の取得・長期運転資金等	認定新規就農者	3,700万円	

経営改善・資金借入相談も随時行っています。興味がある方・希望される方は、JA・役場または農業普及係へご連絡ください。

(担当：東原)

県立農業大学校へ進学しませんか？

県立農業大学校では、平成30年度学生を募集しています。詳しくは農業大学校教務指導課（日置市吹上町和田1800／TEL：099-245-1071）または農業普及係までお問い合わせください。

※ホームページからもご覧になれます。

鹿児島農大

検索

1 募集概要

〈養成部門〉定員115名，修業年数2年

農学部：野菜科35名，花き科10名

茶業科15名，果樹科10名

畜産学部：肉用牛科25名

酪農科10名，養豚科10名



2 入学試験日程

	試験日	受付期間	合格発表
推薦	平成29年10月18日	平成29年9月6日～9月27日	平成29年11月1日
A日程	平成29年12月6日	平成29年11月1日～11月20日	平成29年12月20日
B日程	平成30年2月7日	平成30年1月4日～1月24日	平成30年2月16日
C日程	平成30年3月2日	平成30年2月16日～2月26日	平成30年3月9日



※B・C日程については、定員に達した科においては試験を実施しない場合があります。

(担当：東原)

水土里サークル活動 10年目を迎えて

水土里サークル活動（多面的機能支払交付金）は、平成19年度の開始から10年が経ちました。屋久島では、現在では13組織が活動に参加しています。

開始当初は、Think About 2030（2030年のことを考えてみよう）という合い言葉で制度が開始した訳ですが、参加されている地域、されていない地域、それぞれ10年前からどう変わりましたか？



この制度の目的は、**農地や農業用施設を保全・管理し、農村環境を次世代に引き継ぐこと**です。事業期間は基本5年間、農地面積に応じて交付金が支払われます。

交付単価

（国と地方公共団体の合計額）

（単位：円/10a）

	① 農地維持支払	② 資源向上支払 (共同活動) ※1.2	①と②に 取り組む場合	③ 資源向上支払 (長寿命化) ※3	①、②及び ③に取り組む 場合 ※4
田	3,000	2,400	5,400	4,400	9,200
畑 ※5	2,000	1,440	3,440	2,000	5,080
草地	250	240	490	400	830

- ①農地維持支払
農道・水路の草刈り
遊休農地の保安全管理 等
- ②資源向上支払（共同活動）
農道・水路の補修
景観植物の植栽
伝統文化の継承 等
- ③資源向上支払（長寿命化）
農道・水路の更新 等

「この制度があつて良かった～」という声もあれば、「書類作りが大変」とか「高齢化で人がなかなか集まらない」という声もあります。地域の実情に合わせて、無理のない範囲で今後も取り組んでいただけたらと思います。まだ、参加されていない地域の方々、是非水土里サークル活動に取り組んでみませんか？